

尚志育英

第2号
令和8年9月
岩ヶ崎高等学校
学校だより



夏季休業前には、岩高祭や球技大会、探究活動など多くの行事が行われました。生徒たちが学校内外で活躍した様子を紹介します。

岩高祭・初の七月開催

七月十八日(土)に岩高祭の一般公開が開催されました。当日は多くの来場者が訪れ、大いに賑わいました。

一年生はリアル人生ゲームを制作し、来場者はタイムを競い合いました。

二年生は謎解きスタンプラリーを制作し、来場者はスタンプ制覇を目指して周回しました。全てのスタンプを制覇する来場者もあり、大変盛り上がりました。

三年生はお好み焼きやチョコスなどを販売し、多くの来場者の胃と心を満たしました。

また、文化部や有志によるステージ発表や教室展示も行われ、多くの来場者が足を止めて鑑賞していました。



後夜祭では生徒や先生の自慢の声や演奏、ネタなどを披露し盛り上がりました。今年度は全校制作としてアンブレラスカイを行いました。色とりどりの傘が校内を彩り、素敵な空間をつくっていました。

多くの来場者の笑顔があふれ、大盛況の文化祭となりました。来年もご来場をお待ちしております。

*地域とつながる・

くりこま夜市*

七月十一日(土)に開催された「くりこま夜市」には多くの来場者が訪れ、六日町商店街は大いに賑わいました。

小児がん支援を目的としたレモネードスタンドや、オリジナル岩高缶バッジの販売、科学部によるワークショップ、軽音部の演奏を通じて地域との交流を深めました。

あいにくの雨でしたが、一人ひとりが役目を果たし心から楽しんで活動しました。岩高の魅力を広く伝えるとともに、地域との繋がりを深める良き機会となりました。



熱戦! 球技大会

五月二十一日(木)と二十二日(金)の二日間に分けて球技大会が開催されました。

バレーボールやドッジボール、バスケットボール、バドミントンなど計七種目が行われ、全校生徒をミックスし、岩ヶ崎チームに分かれて優勝を目指し競い合いました。

各競技では学年の垣根を超えて協力する姿が見られ、二日目には先生対生徒のエキシビションマッチも行われました。先生チームの連携プレーが光り、会場は大いに盛り上がりました。

今年度の球技大会は、仲間と協力する姿が多く見られ、盛況のうちに幕を閉じました。



初・全校探究ツアー

五月一日(金)に探究ツアーで気仙沼市を訪れ、防災と減災について学びました。東日本大震災遺構・伝承館では、語り部の方からお話を伺いながら見学をしました。株式会社ミヤカンでは、震災から現在に至るまでの復興についてお話を伺い、工場見学をしました。

私たちにとつて震災当時の記憶はあまりありませんが、見学や講話を通して、防災の大切さを改めて学ぶことができました。今回の学びを今後の総合探究の活動に生かしていきたいと思います。



*三年間の探究・

成果発表会*

七月二十四日(金)に三年生による探究発表会が行われました。それぞれが総合的な探究の時間で取り組んできた研究について発表しました。

環境汚染改善、地域活性化、化学実験、歴史など、三年生がこれまで探究を深めてきた様々なテーマが取り上げられました。

発表では、スライドやポスターを活用し、分かりやすく伝える工夫が見られました。また、当日は佐沼高校の発表も行われ、他校の取組に触れる貴重な機会となりました。参加した生徒たちは、発表を通して新たな発見や学びを得ることができました。



岩高生・大会に挑む

地区・県総体では、本校の選手たちが日頃の練習の成果を胸に、それぞれの競技へ挑みました。

本校には少人数で活動している運動部が多く、一人で試合に臨む部や限られた人数で活動する部がほとんどです。また、合同チームで出場する部もあります。

そのような中でも、選手達は最後まで諦めず、一戦一戦に全力を尽くしました。今回の経験を糧に、さらなる成長と活躍を新チームには期待しています。



岩高二大行事

健康強歩大会のお知らせ

十月十六日(金)の健康強歩大会は、今年度はコースを変更して実施いたします。

午前九時半に学校を出発し、上野原西交差点、稲荷前、愛宕、栗駒稲屋敷地区、鶯沢南郷金田前、鶯沢南郷辻前を経て国道四五七号線を進み、鶯沢校舎で折り返した後、同じ経路で学校へ戻ります(往復約十二キロ)。ゴールは**午後二時**を予定しています。

生徒たちが最後まで力強く歩き抜くことができるよう、沿道から温かいご声援をお願いいたします。

なお、**クマ出没警報**の発令や悪天候等により安全確保が困難な場合は、六日町商店街周遊コースへの変更、または校内にてニュースポーツ大会を実施することがあります。その際は、本校ホームページでお知らせいたします。

学校ホームページ

